

予 算 要 求 資 料

令和3年度当初予算 支出科目 款：民生費 項：社会福祉費 目：障害者福祉費

事業名 リーディングサービス事業費補助金（単補）

（この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください）

健康福祉部 障害福祉課 社会参加推進係 電話番号：058-272-1111（内2608）

E-mail：c11226@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 500千円（前年度予算額： 500千円）

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財産 収入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	500	0	0	0	0	0	0	0	500
要求額	500	0	0	0	0	0	0	0	500
決定額	500	0	0	0	0	0	0	0	500

2 要求内容

（1）要求の趣旨（現状と課題）

視覚障がい者の読書について、公共図書館と点字図書館との相互協力により膨大な図書を視覚障がい者が利用できるようにし、視覚障がい者の読書範囲の拡大と、文化と教養の増進に対して助成を実施

（2）事業内容

視覚障がい者が希望する図書を県図書館から長期貸し出しを受け音訳を行い、リーディングサービステープとして作成したものを貸出

（3）県負担・補助率の考え方

リーディングサービス事業費補助金：500千円（県10/10：定額補助）

（4）類似事業の有無

無

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
補助金	500	リーディングサービステープ作成費用等に対する助成
合計	500	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 後年度の財政負担

視覚障がい者の福祉向上と自立促進を図るため、県負担は今後も必要

(2) 事業主体及びその妥当性

視覚障がい者の読書範囲を拡大することにより、文化と教養の増進に資する社会福祉法人岐阜アソシアが行うリーディングサービス事業の一部を県が補助することは妥当

(前年度の成果)

録音図書完成数	83タイトル	86巻
デジタル録音図書	82タイトル (MDによる編集も含む)	
相互貸借の状況	録音図書	借受:158タイトル 貸出:136タイトル
	DAISY 図書	借受:5,874タイトル 貸出:1,312タイトル
目録配布	約 750 部 / 毎月	

(今後の課題)

<p>・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項</p> <p>視覚障がい者の教養の増進を図るため、リーディングサービス事業の活動の継続が求められている。</p>
--

(事業の評価)

<p>・ 事業の必要性 (社会経済情勢等に沿った事業か、県の関与は妥当か)</p> <p>○ : 必要性が高い、△ : 必要性が低い</p>		
(評価)	○	当業務は、岐阜県図書館と視覚障害者生活情報センターぎふとが相互協力により、全国に先駆けて実施した事業であり、視覚障がい者の読書範囲の拡大と教養の向上に貢献してきた。
<p>・ 事業の有効性 (指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか)</p> <p>○ : 概ね期待どおり又はそれ以上の効果が得られている</p> <p>△ : まだ期待どおりの成果が得られていない</p>		
(評価)	○	各年度により、録音図書及びデジタル録音図書に作成数にばらつきはあるものの、毎年一定以上の作成がされている。また、ボランティアの養成にも取り組み、作成数の増加を図っている。
<p>・ 事業の効率性 (事業の実施方法の効率化は図られているか)</p> <p>○ : 効率化は図られている、△ : 向上の余地がある</p>		
(評価)	○	全国ネットワークに参加することにより、希望図書の中ですでに他館で作製されたものがある場合には、その所蔵館からの貸し出しを受け希望読者に提供するなど、重複作製を避けることで効率化を図っている。

(事業の見直し検討)

事業継続のためには県の補助が不可欠であるが、視覚障がい者のニーズや評価を踏まえ、引き続き県補助を行うことが必要である。

(終期到来時の翌年度以降の事業方針)

<p>継続・削減・統合・廃止</p> <p>(理由) 事業継続のためには県の補助が不可欠であるが、視覚障がい者のニーズや評価を踏まえ、引き続き県補助を行うことが必要である。</p>
